

ダイヤモンド就活ナビ2018 就職モニターレポート4月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2018年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 504名
- ◆調査期間 2017年4月13日（木）～2017年4月20日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	368名 (73.0%)	理系	136名 (27.0%)
----	-----------------	----	-----------------

【回答の多かった学生】

早稲田大学、明治大学、関西学院大学、
明治学院大学、関西大学、中央大学、
日本大学、立命館大学、東京電機大学
慶應義塾大学、近畿大学、上智大学、
法政大学、國學院大学、専修大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	46名	9.1%
東北エリア	12名	2.4%
関東エリア	226名	44.8%
甲信越エリア	13名	2.6%
東海・北陸エリア	44名	8.7%
関西エリア	80名	15.9%
中国・四国エリア	58名	11.5%
九州・沖縄エリア	25名	5.0%

◆ TOPICS ◆

＜就職活動の進行状況＞

「一次面接」が55.3%と前月比32.6ポイントアップ。
選考関連のポイントが大幅に伸び、4月に入り一気に進展した様子が見える。

＜エントリー/説明会・セミナー/選考（エントリーシート、筆記・適性試験）＞

- 【プレエントリー】 平均社数は35.2社と前年比▲2.9社
- 【個別企業セミナー】 平均参加社数は11.5社
- 【合同企業セミナー】 学内セミナー：平均4.0回 学外セミナー：平均4.4回
- 【エントリーシート】 平均提出社数は7.2社
- 【筆記・適性テスト】 平均受験社数は4.8社

＜就職活動観＞

「一般常識・SPI対策」「就職できるかどうか」の2項目が過半数を超える。
42.7%が「苦戦するかもしれない」と回答。
18卒2月調査よりも「展望が見えず悲観的」が増える。

【本調査に関するお問い合わせ】

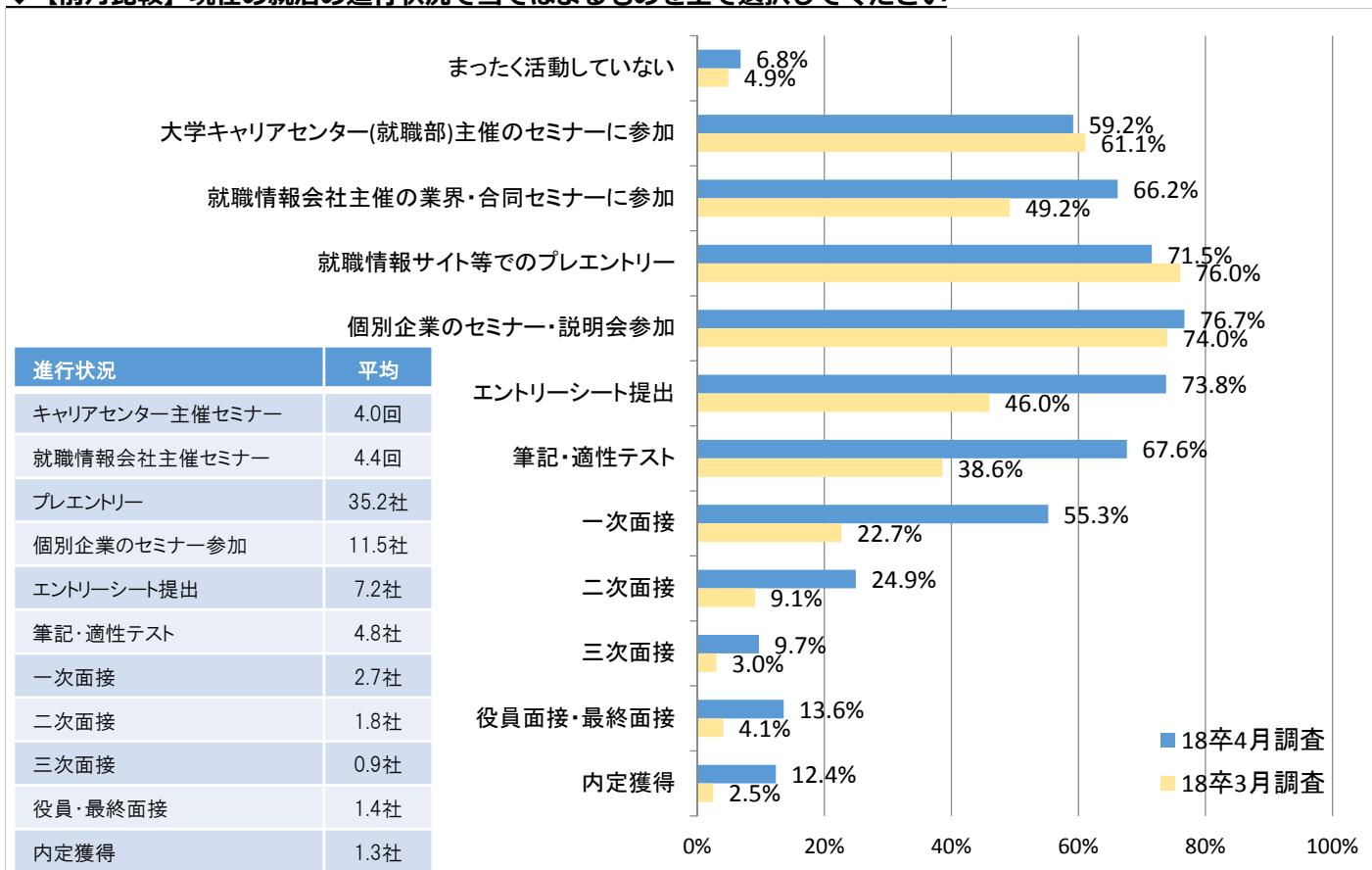


株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

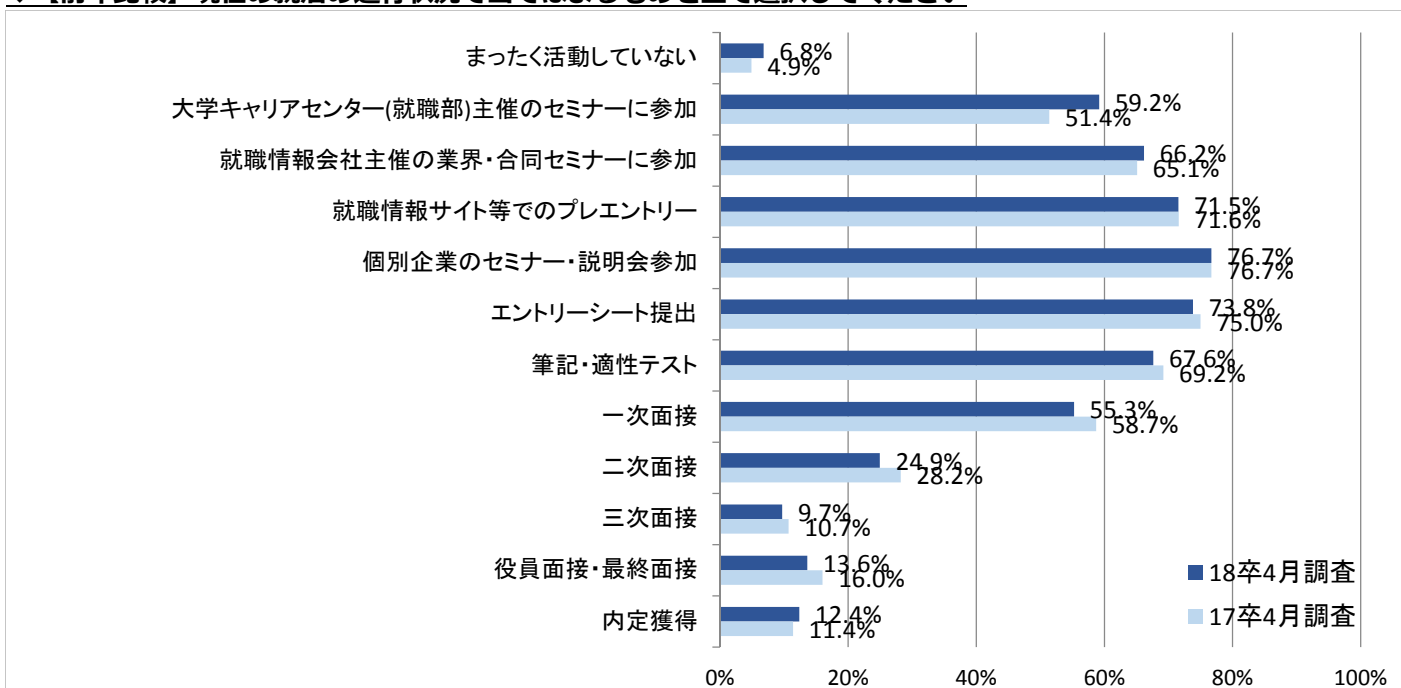
営業局 首都圏営業部
TEL : 03-5319-2452
E-mail : marketing@diamonddhr.co.jp

就職活動の進行状況

◆【前月比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください



◆【前年比較】現在の就活の進行状況で当てはまるものを全て選択してください

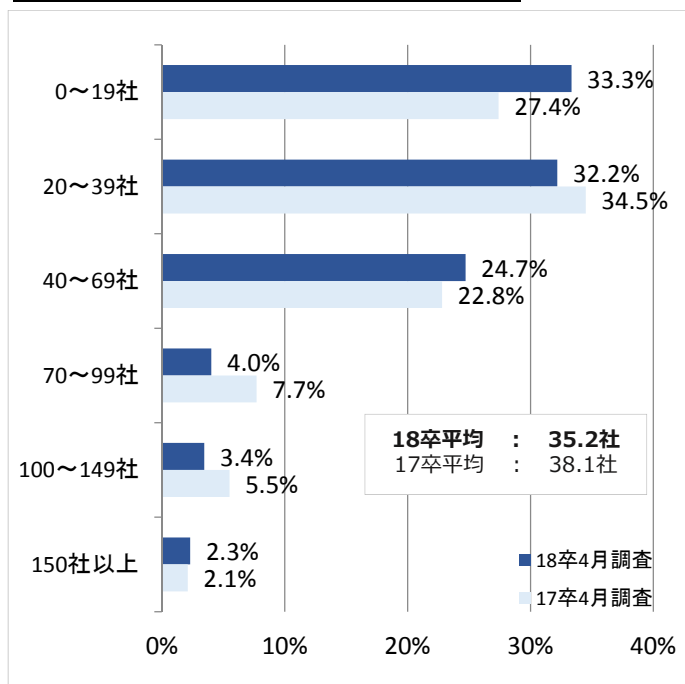


「一次面接」が55.3%と前月比32.6ポイントアップ。
選考関連のポイントが大幅に伸び、4月に入り一気に進展した様子がうかがえる。

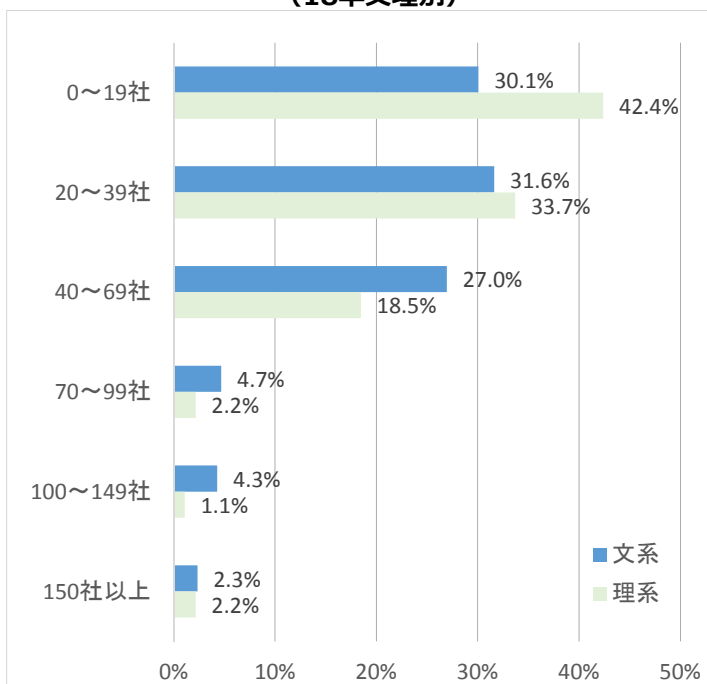
就職活動の進行状況は、「個別企業のセミナー・説明会参加」（3月調査：74.0%→4月調査：76.7%）がトップとなった。次点に「エントリーシート提出」（3月調査：46.0%→4月調査：73.8%）がつけ、「筆記・適性テスト」（3月：38.6%→4月：67.6%）、「一次面接」（3月：22.7%→4月：55.3%）と、半数以上が選考初期段階に進んでいる様子がうかがえる。

エントリー状況

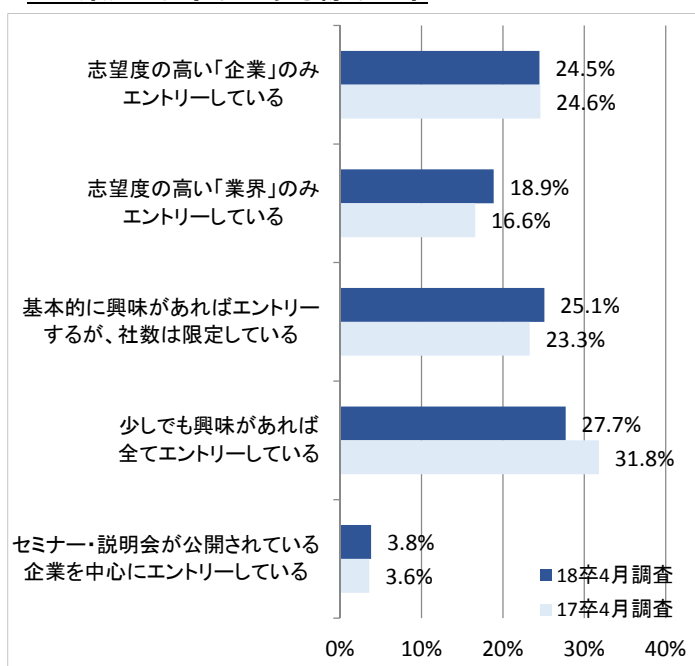
◆就職情報サイト等でのプレエントリー数



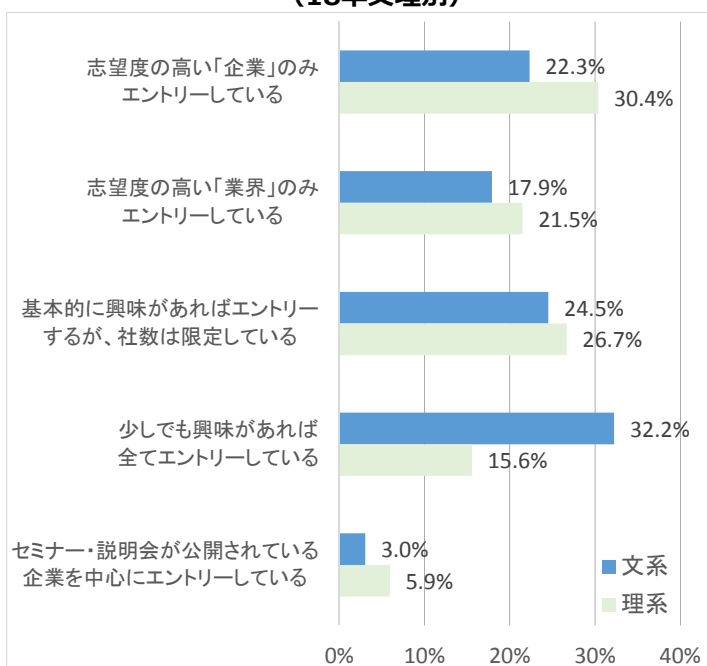
(18卒文理別)



◆企業にエントリーする際の基準



(18卒文理別)



平均エントリー数は35.2社と前年比▲2.9社。

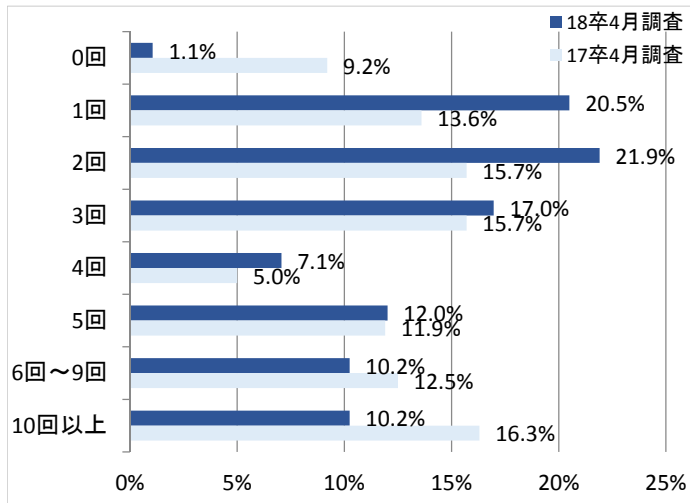
「少しでも興味があればエントリー」がトップだが、減少傾向。理系は過半数が企業・業界を限定。

学生一人当たりのエントリー社数は35.2社と、17卒4月調査の38.1社から2.9社減の結果となった。エントリー社数は「0～19社」33.3%、「20～39社」32.2%が拮抗している。文理別にみると理系の「0～19社」が42.4%と、文系の30.1%に12.3ポイントの差をつけているのが目立つ。

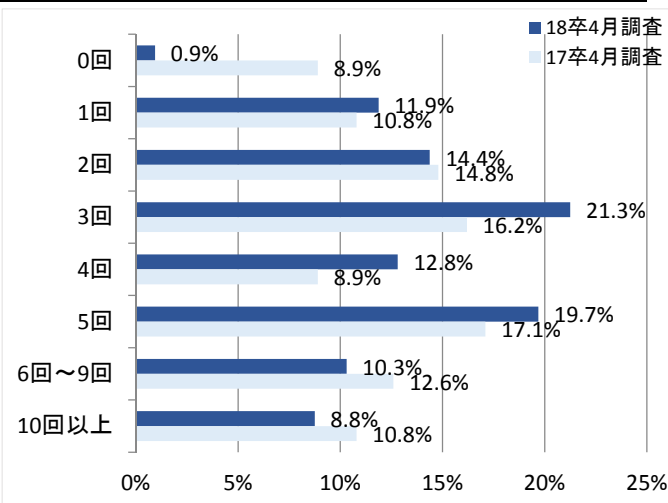
企業にエントリーする際の基準は、「少しでも興味があれば全てエントリー」が27.7%とトップだが、17卒の31.8%から4.1ポイント減。「興味があればエントリーするが社数は限定」(25.1%)「志望度の高い「企業」のみ」(24.5%)との差を縮めている。文理別では、理系は「志望度の高い「企業」のみ」が30.4%とトップ。「少しでも興味があれば全てエントリー」は15.6%にとどまり、エントリー数同様、理系のエントリーを絞り込む姿勢が顕著にあらわれている。

説明会・セミナーの参加状況

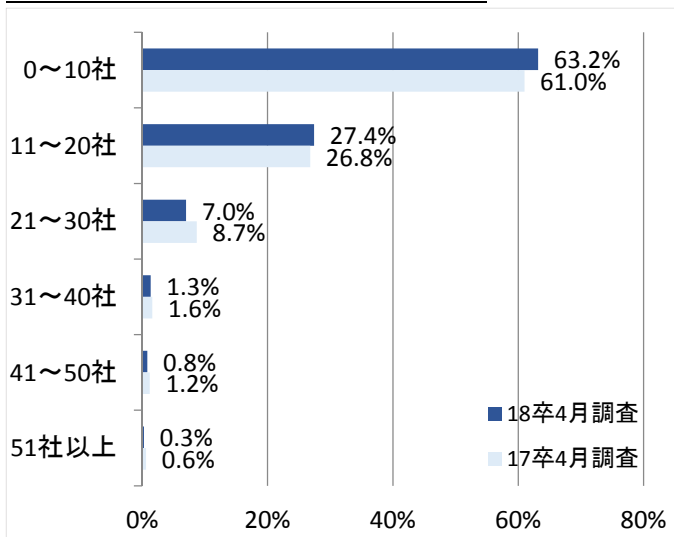
◆【学内】キャリアセンターが主催するセミナー参加回数



◆【学外】就職情報会社が主催するセミナーの参加回数



◆個別企業の説明会・セミナー参加社数



◆学内合同セミナー
18卒4月調査
・・・平均4.0回
17卒4月調査
・・・平均5.0回

◆学外合同セミナー
18卒4月調査
・・・平均4.4回
17卒4月調査
・・・平均4.2回

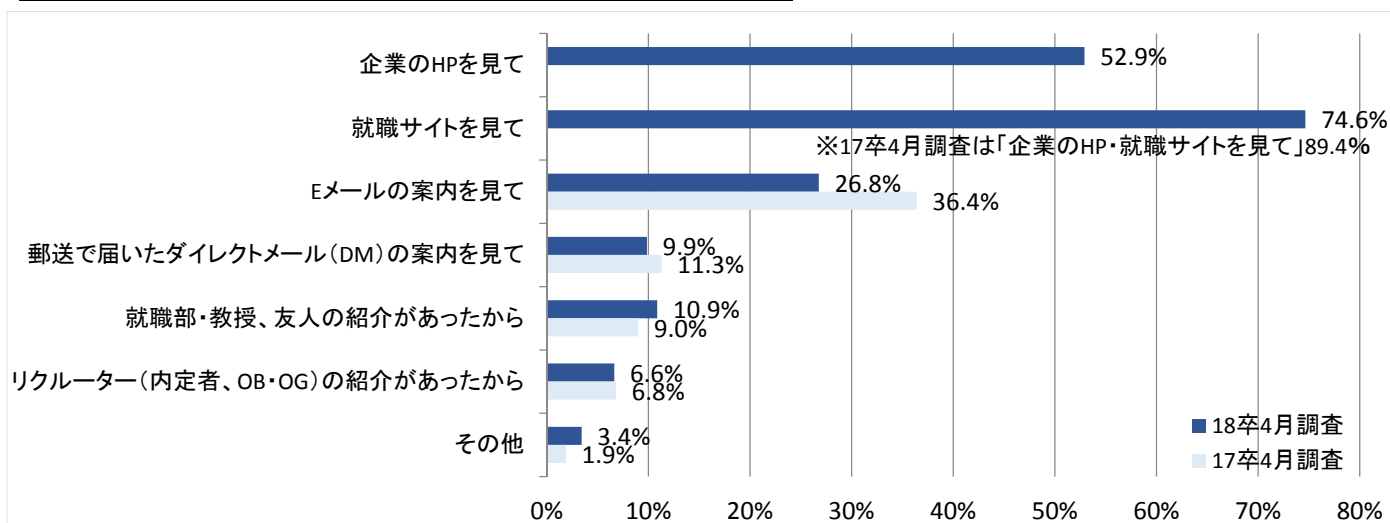
◆個別企業セミナー
18卒4月調査
・・・平均11.5社
17卒4月調査
・・・平均11.9社

**個別企業セミナーの平均参加数は11.5社。
合同セミナー参加平均は学内：4.0回、学外：4.4回。**

学内セミナーの参加回数は平均4.0回で前年比1.0回減の結果となった。トップは「2回」の21.9%で、前年より6.2ポイント増、次いで「1回」が20.5%で前年より6.9ポイント増の結果となった。

個別企業のセミナー参加回数は11.5社と前年より0.4社減の結果となった。「0～10社」が63.2%と大半を占めている。

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？

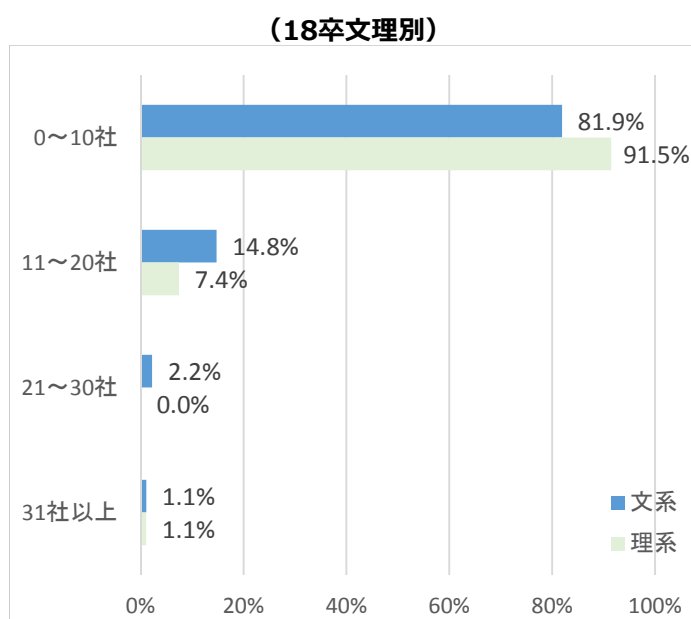
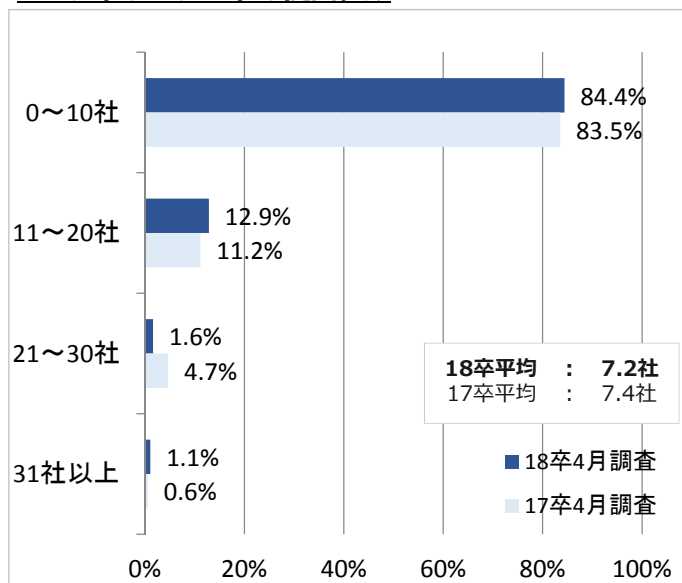


参加のきっかけは「就職サイトを見て」74.6%がトップ。「企業のHP」が52.9%で続く。

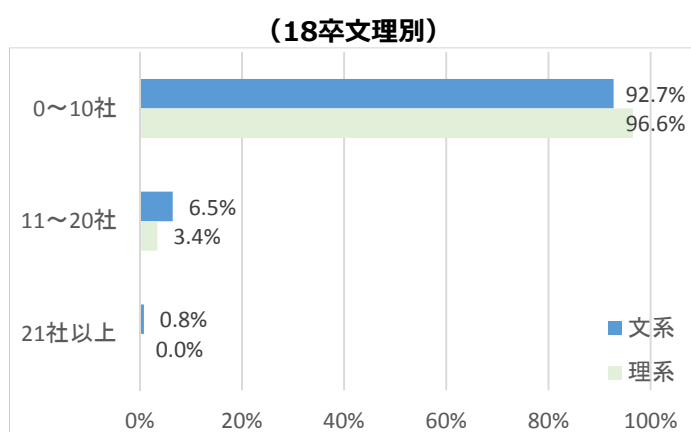
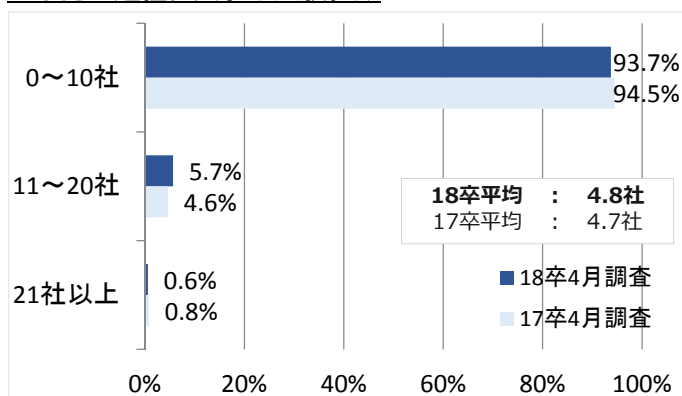
説明会・セミナーに参加するきっかけは、「就職サイトを見て」が74.6%、次点は「企業のHPを見て」が52.9%の結果となった。

選考状況（エントリーシート、筆記・適性テスト）

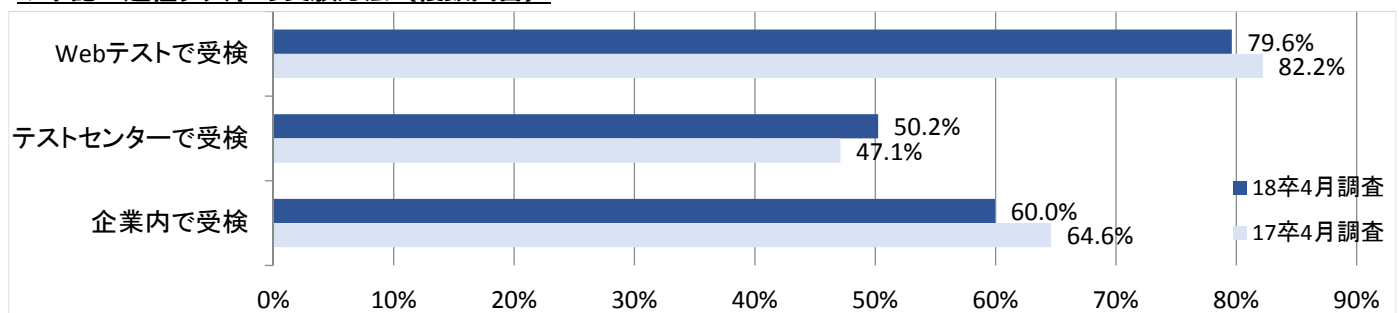
◆エントリーシートの提出社数



◆筆記・適性テストの受験社数



◆筆記・適性テストの受験方法（複数回答）



**【エントリーシート】 平均提出社数は7.2社。理系は9割強が「0~10社」の結果。
【筆記・適性テスト】 平均受験社数は4.8社。文理共に「0~10社」が90%を超える。**

【エントリーシート】

平均提出社数は7.2社と、17卒3月調査平均からは0.2社減の結果となった。全体の傾向としては、昨年と大きな差は見られない。文理比較では、理系は「0~10社」が91.5%を占めており、プレエントリー同様絞り込んでいる様子が見える結果となった。

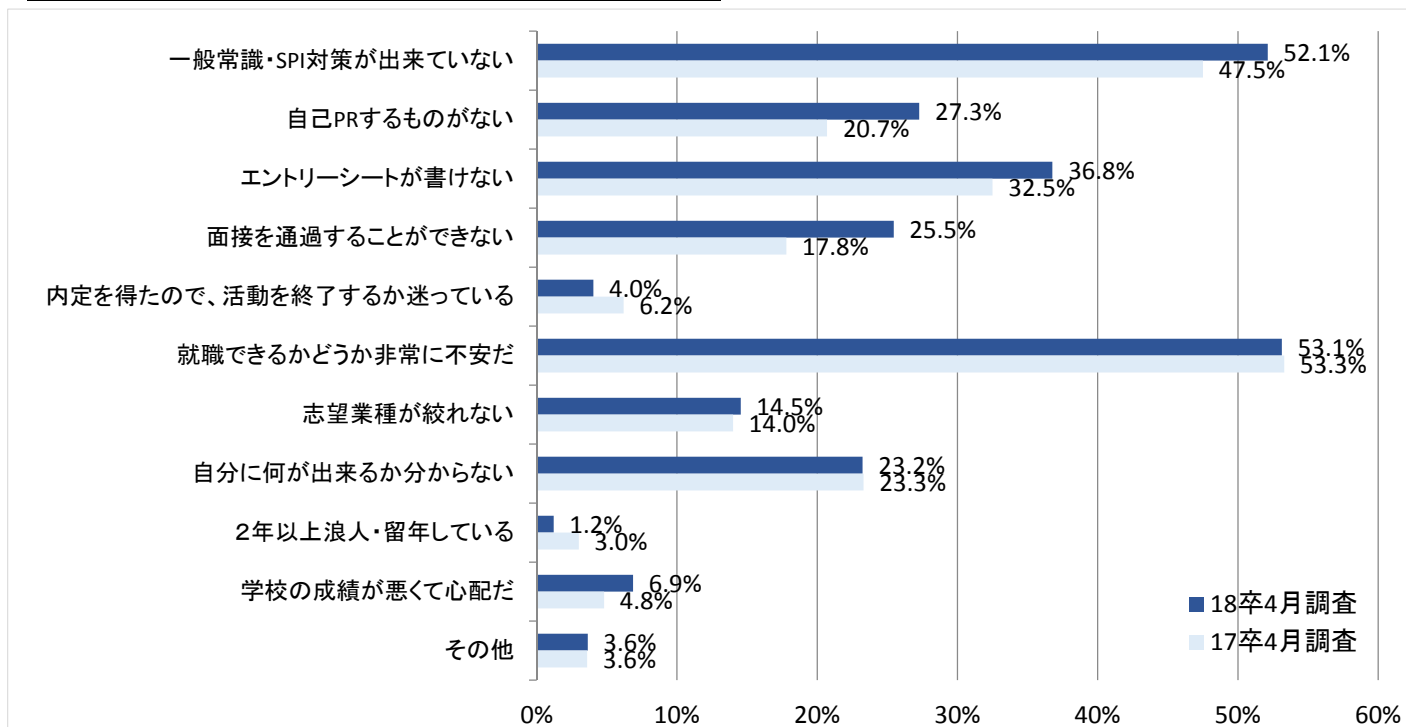
【筆記・適性テスト】

平均受験社数は4.8社と、17卒3月平均からは0.1社増の結果となった。エントリーシート同様、全体傾向に大きな差は見られない。

受験方法は「Webテストで受験」が79.6%でトップ、次点に「企業内で受験」が60.0%の結果となった。

就職活動観

◆今、抱えている悩み(不安)は何ですか？(複数回答)

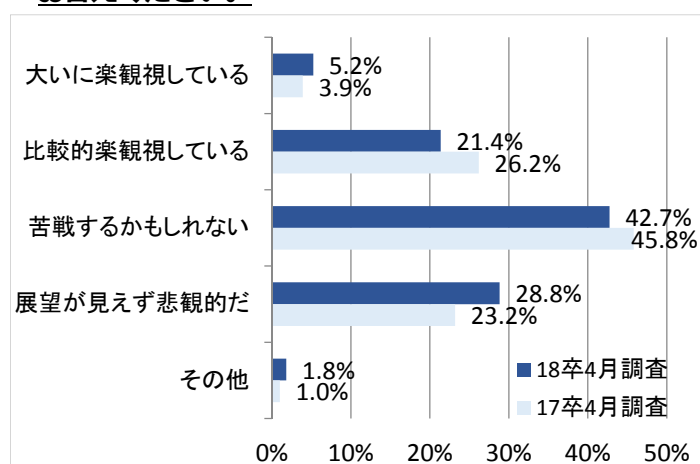


「一般常識・SPI対策」「就職できるかどうか」の2項目が過半数を超える。
「自己PRするものがない」「面接を通過することができない」が前年より6ポイント以上伸びる。

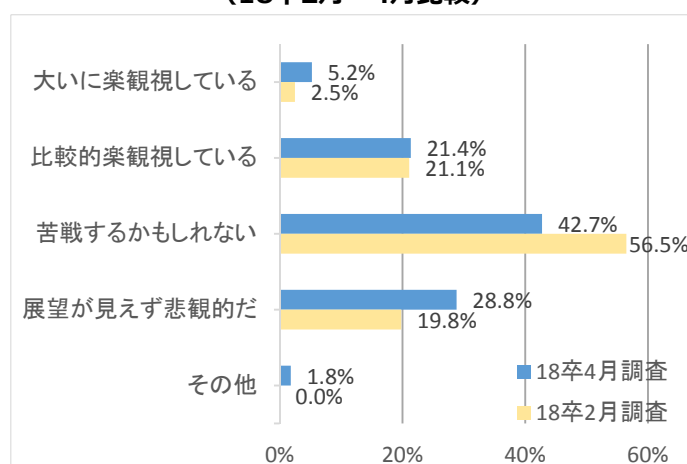
今抱えている悩み(不安)は、「一般常識・SPI対策が出来ていない」「就職できるかどうか非常に不安だ」が半数以上を占めた。

「自己PRするものがない」は27.3%で前年より6.6ポイント増、「面接を通過することができない」は25.5%で前年より7.7ポイント増となった。「エントリーシートが書けない」も36.8%で前年比4.3ポイント増となり、選考フェーズでの悩みが前年より増加している。

◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



(18卒2月・4月比較)



就職活動観は「苦戦するかもしれない」が42.7%でトップ。
18卒2月調査よりも「展望が見えず悲観的」が増える。

就職活動が「苦戦するかもしれない」と考える学生が42.7%でトップ。次いで「展望が見えず悲観的だ」が28.8%で17卒の23.2%から5.6ポイント増加した。

採用広報開始前の18卒2月調査では「苦戦するかもしれない」が56.5%だったが、4月調査では42.7%と13.8ポイント減少し、反対に「展望が見えず悲観的」が2月調査：19.8%→4月調査：28.8%と、9.0ポイント増加した。